



Japanese Painting Continuity Exhibition

# 日本画継環展

伝統画材の継承と循環を目的とした新しい公募展【入選者六十名による作品展】

二〇二六年

東京・銀座展

福岡・六本松・警固展



日本の伝統画材を未来の作家へつなぐ

# 日本画継環展



## 東京・銀座展 2026年4月3日(金)-7日(火)

### ギャラリー一枝香庵

東京都中央区銀座3丁目3-12

銀座ビルディング7F・8F

ビル左横の細い通路先のEVご利用下さい

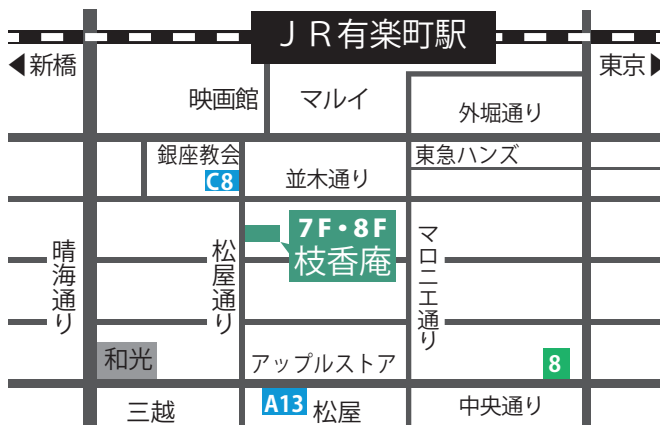
電話 03-3567-8110

【会期中無休】11:30~19:00

東京メトロ地下鉄銀座駅C8

出口1分/A13出口3分

銀座一丁目駅8番出口5分



4月5日(日) 14:00 授賞式開始 / 15:00 審査員対談 / 16:00 懇親会

## 福岡・六本松展 2026年5月23日(土)-31日(日)

### 野の間 日本画体験空間

福岡市中央区六本松1-10-36

電話 092-741-4505

【会期中無休】12:00~19:00

### 月白 喫茶室・書店

福岡市中央区六本松1-7-8-1

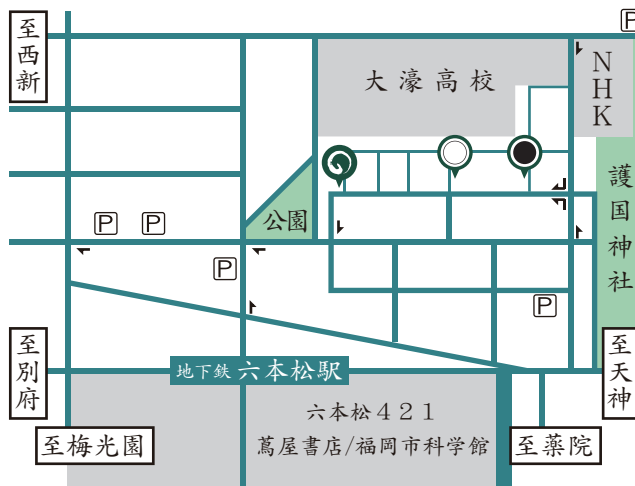
mallsmall B室

【木曜店休】12:00~19:00

### muni coffee&bake

福岡市中央区六本松1-7-36

【火曜店休】10:00~17:00



地下鉄七隈線 六本松駅2番出口より5分

## 福岡・警固展 2026年5月26日(火)-31日(日)

### 山本文房堂 警固本店 福岡市中央区警固3-12-1 ギャラリー(2F)

【会期中無休】11:00~18:00 ※最終日は16時まで

電話 092-751-4342

## ごあいさつ

展覧会開催にあたり、第一回日本画継環展には全国各地より490点ものご応募を賜りました。初年度にも関わらず本公募にご参画くださったすべての皆様に、心より深く御礼申し上げます。

ご応募くださった一人ひとりの挑戦と、日本画への真摯な想いに、あらためて敬意と感謝を申し上げます。たとえ今回の展示に至らなかった作品であっても、その一作一作が本展の礎であり、日本画の未来を確かに支える力であると私たちは信じています。

今回の取り組みは、単なる発表の場に留まらず、日本画を取り巻く環境の課題に、文化の啓蒙と次世代への普及を担う試みでもあります。厳正な審査を経て選出された60名・123作品を展示するとともに、作家の同意のもとオンラインショップにて作品を公開し、展示に至らなかった作品であっても、心に響く一作と出会われた際には、どなたでもご購入いただける機会を設けております。

これらは本展を契機に、新たな出会いと支え合いが生まれ、日本画の未来がより豊かに広がっていくことを心より願っております。

日本画継環展は、職人・小売店・作家が互いに支え合い、持続的な循環の創出を目指します。そして、日本画を「観るもの」から「愉しみ、暮らしの中に迎えるもの」へとひらき、その魅力を広く社会へ届けていく活動の一助になれば幸いです。

## 審査員紹介



### 立島 恵

佐藤美術館 学芸部長  
武蔵野学芸美術教育研究所 所長 等

日本画に特化した展覧会は数多あります。しかし日本画を俯瞰し、真の意味で画材の作り手と画家を結びつけ、盛り立てようとする組織は稀有な存在のように思います。私は本展の理念に賛同し審査員をお引き受けしました。本展はコンクールの形式をとってはいますが先にも記した通り日本画に携わる全員が主役です。是非多くの方々に出品(参加)していただき私たちとともに日本画の明日を拓こうではありませんか。



### 荒井 経

東京芸術大学大学院 文化財保存学専攻  
保存修復日本画研究室 教授

日本画で使われている画材は、扱いが面倒かもしれません。しかし、便利に既製されたチューブ絵具やキャンバスにはない自由度があります。紙や絹をどう加工するか、墨や絵具をどう組み合わせるか、金銀箔のような材料もあります。多種多様な画材から自分なりの技法を見つけ出して描いた個性あふれる作品の応募を期待しています。



### 渡辺 麗斗

ベータ・ベンチャーキャピタル株式会社  
代表取締役パートナー

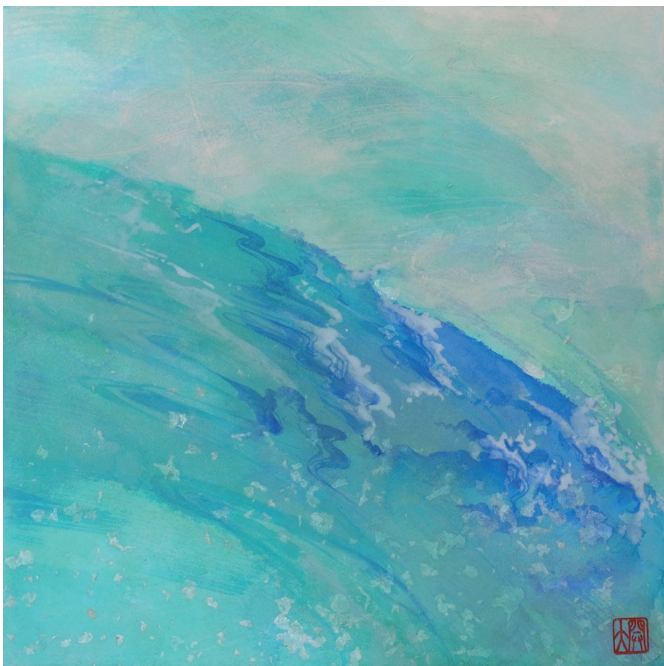
岩絵具が手に入らなくなるかもしれない。それを知ったのはつい最近のことです。私はいま地域金融という美術とは近いようで遠いところで働いており、美術について専門的な教育は受けてはいませんが作品を観るのも思索するのも昔からとても好きでした。絶え間なく滞りなくお金を融通する金融の世界で働いているので、創造を形作るときに必要な素材がなくなる、ということの危うさはとても分かります。連綿と続く創作の歴史のなかで、日本画が、作品としてだけでなく、作り続けられる環境としても残ってゆく。そんな世界観に共感し関わる人が増えていくことを願っています。



シーン 240x330mm  
アナ ヨバノブスカ



シーン 240x330mm  
アナ ヨバノブスカ



筆跡の波(小作品) 273×273mm  
中田開大



赤いカラスと白い木 333×190mm  
中田開大



地震前年の珠洲市のキリコ祭り

228×318mm

池田静江



ヒメダカたちの棲家

円形パネル(直径25cm)+3cm

池田静江



地藏菩薩 F4

館 恵



地藏菩薩 F4

館 恵



緑の風景(初夏) F3  
難波忍晴



緑の風景(巡礼) B4  
難波忍晴



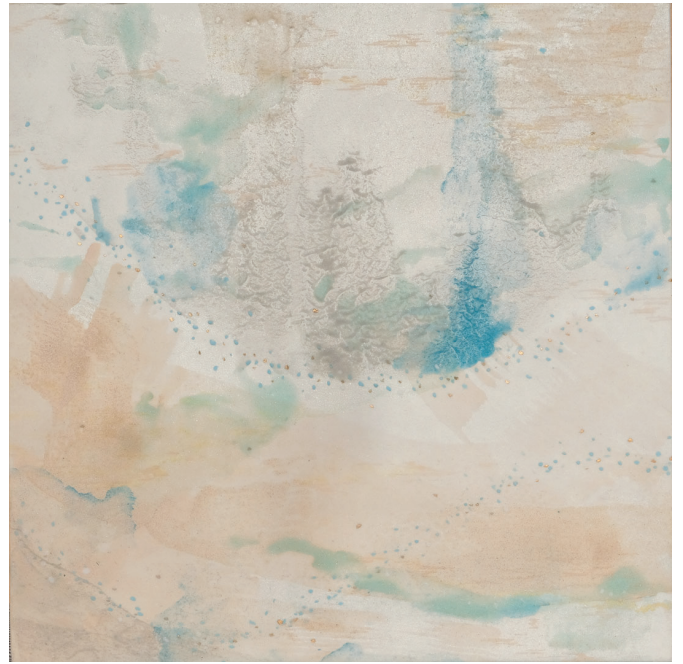
隅 F6  
後藤悠介



ゆい F8  
後藤悠介



蔓草 F4  
瀧ヶ崎千鶴



inner landscape #2 300×300mm  
長谷川 莉子



inner landscape #3 300×300mm  
長谷川 莉子



花はまだ女を忘れない 455×330mm  
湯璧如



夢とうつつのあい 345×415mm  
湯壁如



不朽 F8  
泉 楓花



深々 F6  
塚田圭以子



賜物 319×243mm  
塚田圭以子



日常 -Scotoma- M8(455×273×35)  
田村 美智子



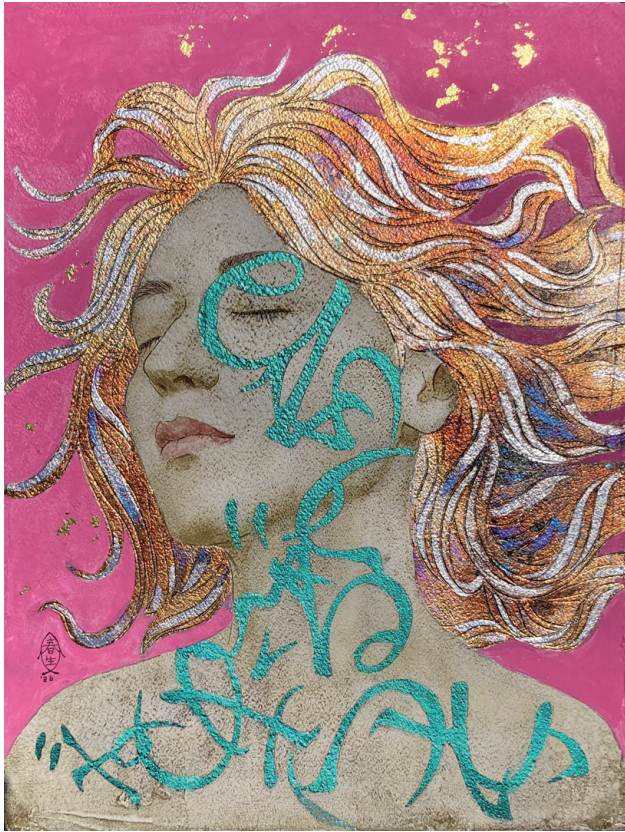
風の小道 F4  
岩橋直子



母と見た秋 F3  
岩橋直子



さざんか SM  
小室 純



Love is real,it's true. F4  
堤春生



まなざし F4  
堤春生



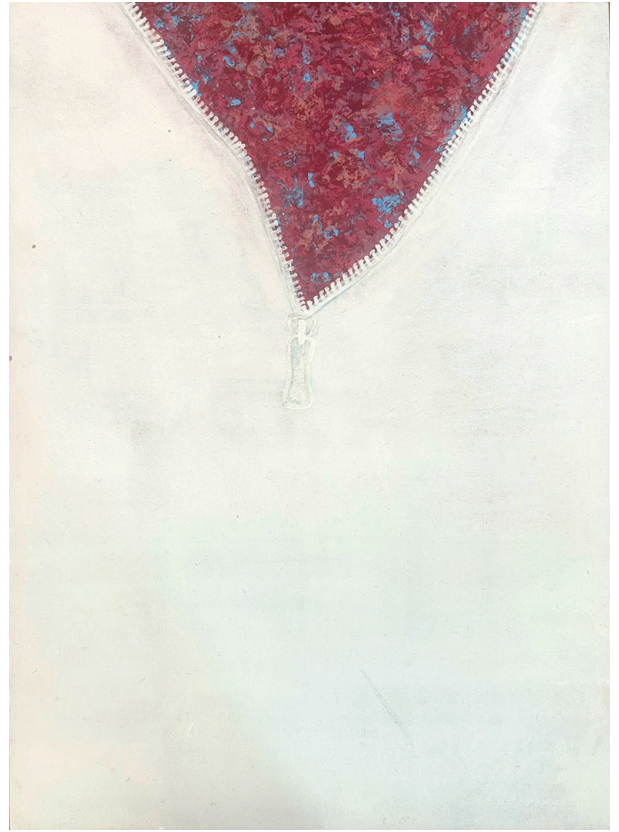
コイヌノシコウ SM  
加納ようこ



ウサギコレカラ SM  
加納ようこ



記録 F4  
高木 優羽



ひらかれるもの F4  
高木 優羽



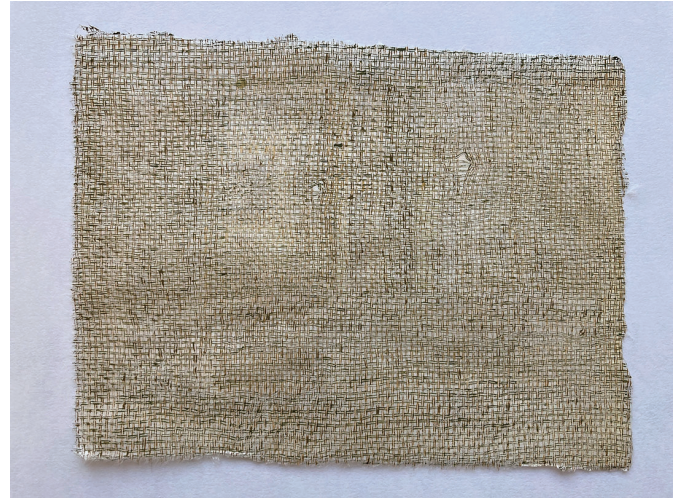
スプレーマム SSM  
王禎寅



シロタエギク M6  
王禎寅



たていとよこいと#16 215×184mm  
ふくださちこ



たていとよこいと#12 225×185×35mm  
ふくださちこ



温もり 90×330mm  
りと\_i



平穏 320×410mm  
りと\_i



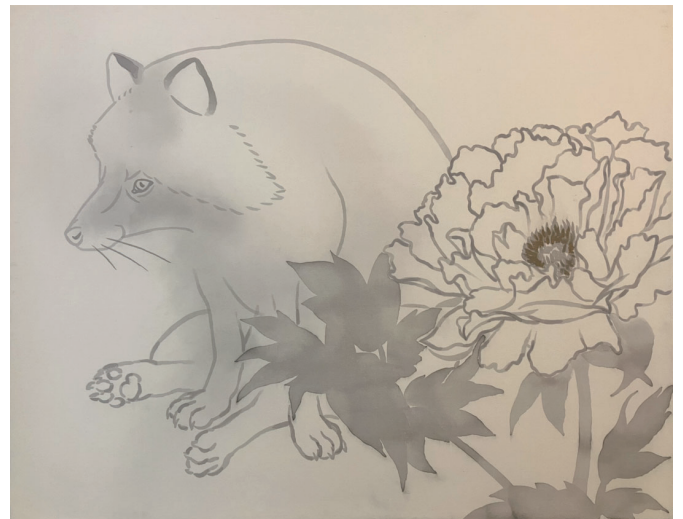
春が降る A4  
守屋亜矢子



春が降る 直径30cm(円形パネル)  
守屋亜矢子



想 直径30cm(円形パネル)  
守屋亜矢子



狸図 410×318mm  
戸田淳也



犬図 455×380mm  
戸田淳也



帷の内 297×210mm  
暖簾



暗地、ふたり 297mm×210mm  
暖簾



蘇樹 P4  
李 唯親



《The First Dream》 F6  
ZHANG SHUZHEN



《煽る》 F8  
ZHANG SHUZHEN



実り F8  
森田 裕八



春の宵 F6  
森田 裕八



オーロラ F8  
江間江美



遭逢 F6  
江間江美



Dubrovnik 10 F4  
芹澤マルガリータ



Alleyway 03 WSM  
芹澤マルガリータ



春のおとづれ F4  
河村豊子



ほのかな喜び SM  
河村豊子



暮れきらず 298×198mm  
智真



明けきらず 455×380mm  
智真



離塵 420×297mm  
高義勝



屈折の視線 420×297mm  
高義勝



寒風 F6  
知里



静活 F6  
知里



萌層 S4  
李 唯親



Garden of Eden F8  
李 唯親



葉音 M4  
李 唯親



春のなごり F4  
KAZU



お喋りな百合 P8  
KAZU



山行 500×300mm  
王夢石



山行2 500×300mm  
王夢石



金魚の夢(新月) F4  
梅宮 順子



梅雨晴れ F6  
河内貴実子



花序 F3  
山元麻衣



トウカ P6  
山崎有美



瑠璃のフーガ M6  
山崎有美



灯び F3  
徳門あいみ



実り F3  
徳門あいみ



Amour en cageNo. 27 F4  
松澤敬子



Amour en cage No. 2 SM  
松澤敬子



紅葉 霜月 F6  
手塚葉子



柔らかな風 P8  
手塚葉子



夢の跡 455×273mm  
寺本 悠里子



変容の形 273×220mm  
寺本 悠里子



月 S4  
矢野真路



花 S4  
矢野真路



クモの巣 F8  
河邊雅子



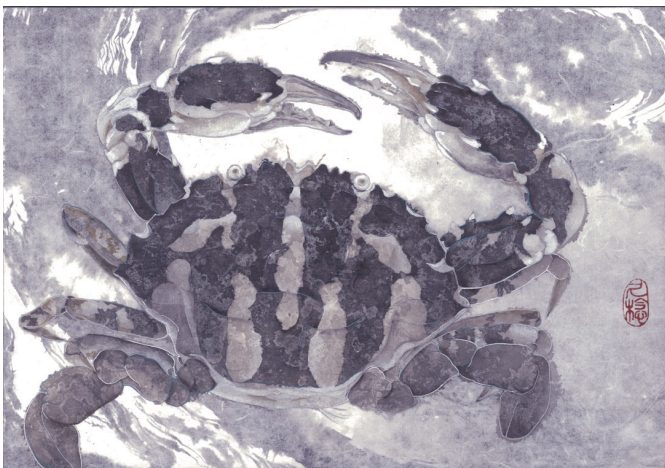
モモノハナ B4  
河邊雅子



金魚の夢(満月) F4  
梅宮 順子



スナドリネコ SSM  
膳棚久稔



縞石蟹 P3  
膳棚久稔



時を織る F8  
直原清美



時を繋ぐ P8  
直原清美



花天井 円形パネル(直径 360mm)  
坂本優子



風 円形パネル(直径 305mm)  
阪本優子



ともしび 340×275mm  
阪本優子



impact F8  
金森 美紗輝



向春 F8  
金森 美紗輝



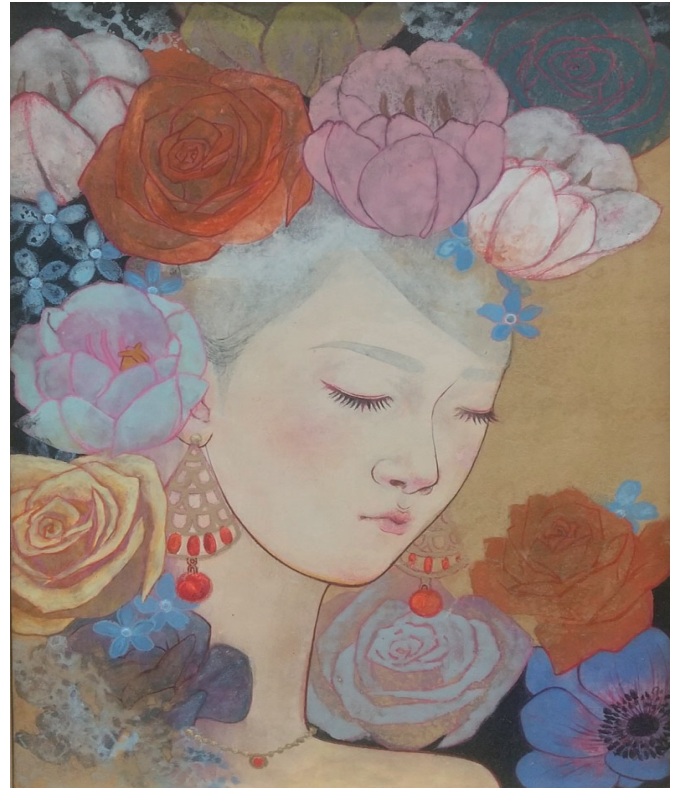
春訪 M8  
額川麻美子



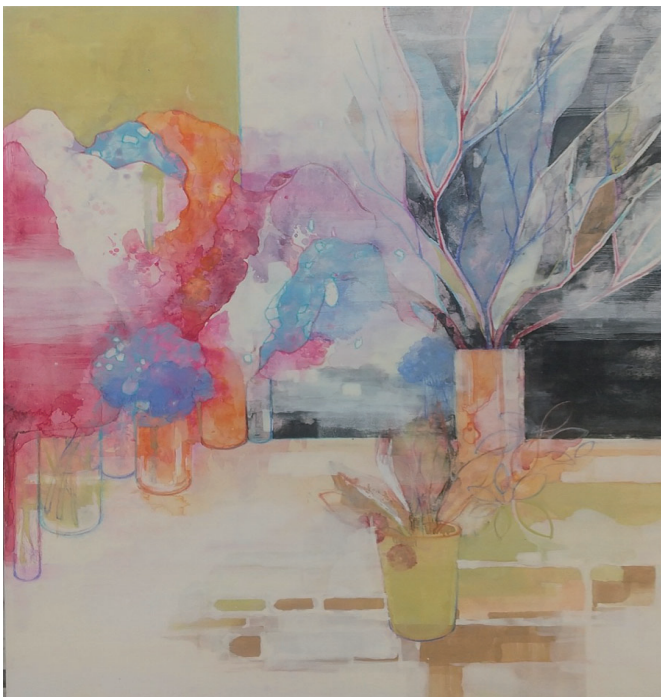
肅 P6  
額川麻美子



硝子の向こうの街 F4  
佐藤雅美



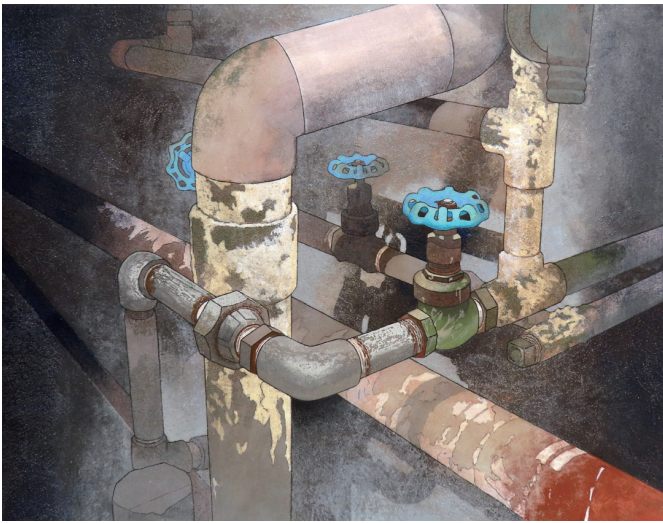
咲き誇る F4  
佐藤雅美



植物がある場所 F8  
佐藤雅美



冬映 F6  
可児貴子



月夜 F6  
田中 侑良



秋季 F3  
田中 侑良



黒斑 SM  
稲葉未来



あの夏へ F6  
花立 ゆかり



夕照の丘 F4  
花立 ゆかり



色褪せぬもの SSM  
夏彦



先導者 SSM  
夏彦



fruit basket F4  
瀧ヶ崎千鶴



黎明 455×325mm  
阪本優子



穀雨 F8  
阪本優子



この春 F6  
阪本優子



赫い糸 F6  
有富禎子



Fly me to the moon F6  
有富禎子



鹿苑 F8  
桃山朋々



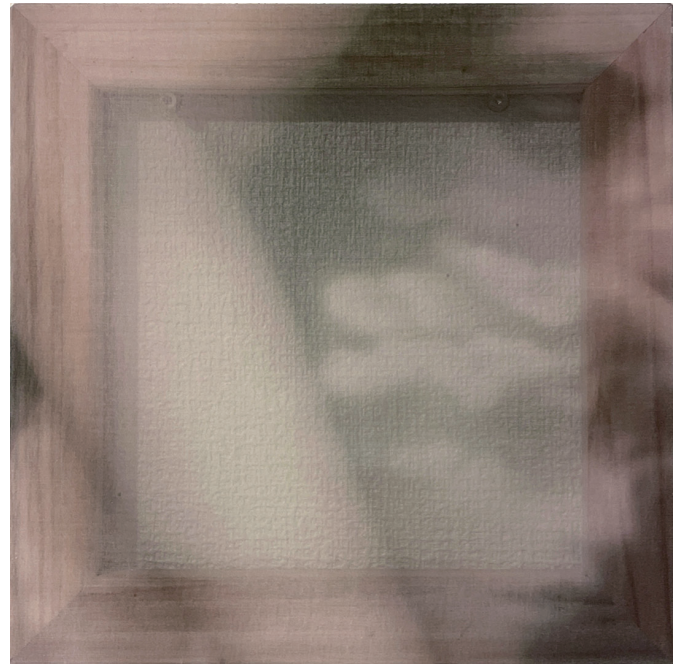
紫牡丹 F8  
桃山朋々



散歩道-RAS- M8(455×273×35)  
田村 美智子



湖畔 F6  
可児貴子



Sempiternal S3  
千源



Sempiternal S3  
千源



pleasure time S6  
井上恵理



雨音 丸作品直径175mm  
井上恵理



高气圧に乗って(晝図) 410×290mm  
ナカガワタイテン



高气圧に乗って(阿図) 410×290mm  
ナカガワタイテン

日本画の普及と日本画材に関わる  
全ての人々を応援したいという  
当公募展の趣旨にご賛同いただき  
作品応募・ご支援いただきました  
方々に心より感謝申し上げます。

ご応募いただいた全ての作品は公  
式ホームページにてご覧いただけ  
ますので是非ご高覧ください。

日本の伝統画材を未来の作家へつなぐ  
日本画継環展

公式ホームページはこちら》

<https://keikanten.com/>

日本画継環展 検索



## ご支援いただいた方からのメッセージ



### 株式会社 喜屋

東京・湯島で大正時代初期から続く、日本画材・水墨画材料を取り扱う専門店。自家製天然岩絵具を含め、数千色に及ぶ絵具を数多く取り揃えています。

岩絵具は原料となる素材も、作る職人も少なくなっています。限りある資源であり、貴重な芸術品でもある岩絵具を使った美しい日本画という文化、伝統をこの先にも残していきたいですし、個人としても綺麗な日本画作品を見てみたい。今後も作家のみなさまには良い作品を描いていただいて、作品を通して日本画の魅力を世界に発信してもらえたら嬉しいです。



八女手漉き溝田和紙 代表  
八女手漉き和紙組合 組合長  
久留米大学文化財保存科学研究部会員  
文化財保存修復学会員

### 溝田 俊和

私は八女で手漉き和紙を作っております、溝田和紙の溝田と申します。この度は、本展に集うすべての出品者、そして開催に尽力された皆さまに心より敬意を表します。日本画に込められた伝統の息吹と新たな表現が、ここで響き合い、未来へとつながっていくことを願っています。一点一点の作品が観る人の心に灯をともし、豊かな出会いの場となりますように。これからも挑戦と創造が続くことを応援しています。

また、本展にご尽力された方々に敬意と本展の成功を心からお祈りします。多くの来場者に感動が届きますように。今後の発展を期待しています。

## 清晨堂 SEISHINDO

日本画筆工房 清晨堂  
代表取締役

### 阿部 悠季

現在、日本画材の製造において、原材料の入手の困難さや後継者不足等様々な課題があり、存続が危ぶまれる伝統画材が多くあります。私共が携わっている筆業界においても、原毛や竹軸、刷毛板に漆等、様々な原料の入手が難しくなっているのが現状です。そんな厳しい中で、日本画継環展が画材やそれを製造している職人に関心を持って調査し、社会へ発信しようという試みには大変励まされますし、一緒に何かお手伝いできればと思っております。また困難な事ばかりではなく、日本画材にはまだ秘められた可能性もあるとも思っています。私共が製造している筆も最近では海外の水彩画家やアクリル画家の方々から注文をもらうことが増えてきています。アメリカのタトゥースタジオからも下絵に使用するため、御注文頂き、評判も上々です。長年口伝で伝えられ、培われてきたメイドインジャパンの伝統画材の技術・伝統が、この展覧会を機に国内外を問わず、伝わって欲しいと願っております。



株式会社山本文房堂  
店長

### 山本 遼平

福岡で創業93年の画材・額縁の専門店です。はじめての方から、学生、第一線で活躍するプロの方まで、お客様の「描きたい」「創りたい」「飾りたい」を全力でサポートいたします。ぜひ一度ご来店ください。

継環展の活動は「職人」「販売者」「画家」を繋ぎ、循環させていく今迄になかった新しい公募展です。日本画の人口が少ないとしても、その小さな分母を育て、増やし、着実に次の世代へと繋ぐための土壌とする素晴らしい取り組みであり、また、そこに携わる方々の熱意は福岡から日本画の新たな芽吹きを照らす陽光になるのだと思います。そんな継環展の活動をこれから応援させていただきます。

日本画は敷居が高いイメージをもたれますが、実はそのような事はなく、選ぶ道具によれば水彩画の用に手軽に描く事ができます。さらに道具を知ればより絵を描く楽しさ、道具を選ぶ楽しさも増します。

今回、日本画継環展はSMサイズで参加出来る気軽さなど、敷居の高いイメージを一新した公募展。この日本画継環展が日本画人口の増加に繋がるよう、日本画公募展の登竜門な存在になるよう、応援します。



そのもの株式会社 代表取締役会長  
アングス株式会社 代表取締役社長  
LOCALISTA 創設者  
福岡県グローバルコネク  
福岡 企画運営委員  
福岡県よかとこビジネス  
プランコンテスト審査員

前田 哲郎

日本が誇る文化であり、天然鉱石を用いた岩絵具で表現される日本画は、その質感や余白の美学は世界からも評価されています。

しかし、日本画界全体の課題として、描きたくてもその道具となる筆や和紙、岩絵具などの職人さんや原料の減少によって画材の入手が困難になってきているようです。そんな中で何とか日本画を後世に遺したいという強い思いで立ち上げられたこの企画。皆さまの支援が日本画という素晴らしい芸術を未来に遺していく一助となります。是非、応援よろしく願いいたします。



株式会社 茶時遊空間  
代表取締役

今村 由美

全日空機内誌「翼の王国」執筆  
なつ星乗務員向けお茶のい  
れ方講座, グリーンティージャ  
パングランプリ受賞, 淹茶選手  
権2023九州代表, 日本茶イン  
ストラクター(5期)

日本画を支えてきた伝統画材と職人の技を、未来へとつなぐ『日本画継環展』

日本茶もまた、茶農家や茶商の方々の存在があつてこそ、私たちは一杯のお茶を味わうことができます。「当たり前」の前にある、数えきれない人の想いと技、そして積み重ねられてきた伝統を、次の時代へ託すために。心から『日本画継環展』を応援しています。



有限会社ペーパーカンパニー  
代表取締役

中村 修治

1962年近江の地で生まれる。  
1986年に立命館大学を卒業。  
1989年にバブルの泡に乗って  
来福。1994年に(有)ペーパーカン  
パニーを設立し独立。福岡に企  
画会社など存在もしなかった  
ころから30年以上も最前線で  
生きているプランナー。企画書  
を書いた量とプレゼン回数は、  
九州No1だと言われている。

“野の画家”が振り絞った勇気

「日本画継環展」を発案&共催しているのは、合同会社野の画家。ここの創作の姿勢には、いつも頭が下がる。ちゃんと自分の足で野に入り、野の息遣いを筆にこめる。疑いのない『野の画家』である。誤魔化しが無い。ホントに心が開けるのは『野山』だけのはずなのに、それを乗り越えて日本画の未来のために公募展を企画したというではないか!?この「日本画継環展」は“野の画家”が振り絞った勇気の出でであり、ある意味、一世一代の作品でもある。

…であるなら、買うしかない。応援するしかない。

# 日本画材の紹介

日本画材は天然素材などその都度混ぜ合わせて作ります。描く前に色(粉)と接着剤(液体)を自分の手技で練り合わせ、使う瞬間にはじめて絵具として完成するのです。アクリルや水彩絵の具は「塗りやすさ」を優先し、粒子の大きさが均一に整えられていますが、日本画ではザラザラした岩の質感の残すために荒い粒子を使うほか、水のような細かい粒子を使ったりと、その時の表現にあわせて「絵具の物理的な表現」を自分自身で設計をします。また、日本画は基底材の質感を活かし、自分で濃度を調整することで、透けて見える薄塗りや、水を含ませた極限のにじみを自由に操ることができますし、他方ぶ厚く壁面のように描きつくす事もできます。このような素材同士を合わせる作業は、西洋画のように調合済みの絵具を使う場合だと微調整が効きません。日本画材は、ただ扱いが不便なのではなく、描き手が素材から作り上げるためのプロセスを経ることによってくつもの分岐点が発生し、その絵画技法は作家の数だけ存在するほど幾通りにも存在します。



岩絵の具 いわえのぐ

鉱石状のものを砕いて粉状にした絵具です。天然石を原料とした「天然岩絵具」や、近代になって人工的に作られた「新岩絵具」などがあります。これらの顔料は、粉末状で粒子の大きさによって番号がわりふられ独特の質感があります



水干絵の具 すいひえのぐ

薄板状になっており、乳鉢で空ずりを行い塊を細かくしてから膠液で練り、更に水で薄めて使う方法があります。粒子の大きさの差がほとんどないため、溶いた色同士を混ぜて色々な色を作ることができます。岩絵具にはない濃く鮮やかな色もあります。



筆・刷毛 ふで・はけ

画筆は仕上がりを左右する重要な画材です。用いられる毛や穂の形で多くの種類が存在し、描き味もそれぞれに特徴があります。毛の種類は羊やイタチなどの自然毛、自然毛と合成繊維毛の混毛、合成繊維毛などの種類があります。



墨 すみ

菜種油やゴマ油の油煙墨や松の木片の松煙から採取した煤を香料と膠で練り固めた松煙墨があります。下絵を写す骨描きや隅取りのほか仕上に用いることも。溶いた絵具や胡粉に混ぜて色味を変えるといた使い方など、透明感や光沢のある”黒”として用います。



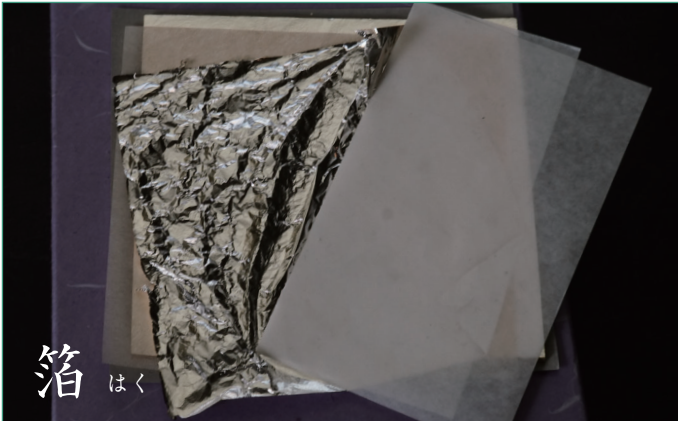
## 膠 にかわ

膠は岩絵具を紙などの基底材に定着させるための接着剤で、動物の骨や皮から煮出したコラーゲンです。膠液と岩絵具をよく混ぜ、十分に練って使います。膠は気温や温度によって固さが変わり、膠液の濃さや混ぜる量は描法や画家の好みによっても変わってきます。



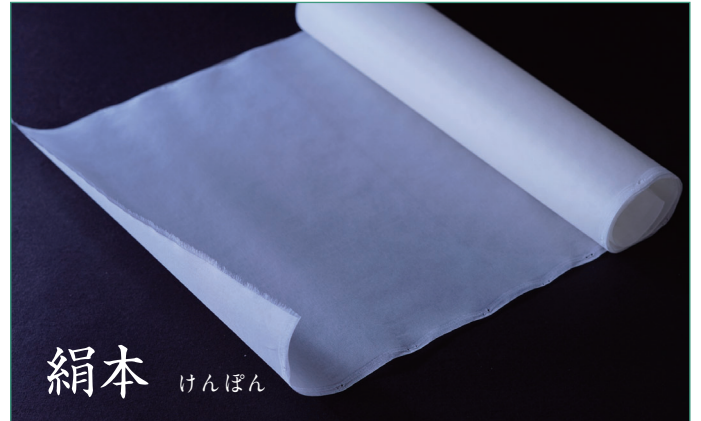
## 胡粉 ごふん

古くから使われている最も代表的な白色の絵具です。他の絵具と混ぜて中間色を作ったり、厚みを出したりすることもあります。下地として全体に塗る場合、上から重ねる絵具の発色を良くしたり、紙を保護したりする役目もあります。



## 箔 はく

金や銀などの金属を極限まで薄く叩きのぼしたシート状です。絵具だけでは出せない独自の光沢や質感を与えるために使われ、膠を接着剤として貼り付けます。箔押し表現したい色や性質に併せて様々な金属が用いられます。



## 絹本 けんぽん

絹を絵の土台として使います。和紙とは異なり光をわずかに通す織物のため、透明感や奥行のある表現が最大の特徴です。さらに細かい線を引いたり、細密な描き込みをしたりするのに適しています。裏側から描く裏彩色は他にない彩色法です。



## 和紙 わし

日本画において、作品の土台となる最も主要な支持体です。洋紙と比べて繊維が非常に長く絡み合っているため、薄くても丈夫なのが特徴です。独特の柔らかな風合いを生み出すことができ余白を演出します。

日本画継環展HPでは、日本画材を取り扱っている小売店の情報や職人の手仕事などの紹介を今後予定しております。よろしければ是非ご高覧ください。

日本の伝統画材を未来の作家へつなぐ  
日本画継環展

公式HPはこちら »

<https://keikanten.com/>

日本画継環展

検索



日本画継環展は、日本画材の製造元・販売元・小売店を応援しています。

